2015年度 金沢医科大学 前期理系 第3問

問題 方程式 $y = 2x^2$ で表される放物線 G_1 がある。 c を正の実数とする。 方程式 $y = -2x + c$ で表される直線 l に関して、原点 $O(0, 0)$ と対称な点を A とする。 A を頂点とし、 G_1 を平行移動して得られる放物線を G_2 とする。 G_1 と G_2 の交点を P とすると、 P の x 座標は c を用いて $\frac{\text{チ}}{\text{ツ}}c + \frac{\text{テ}}{\text{ト}}$ と表すことができる。 した

がって、 P と A が一致するとき、 $c = \frac{\text{ナ}}{\text{ニ又}}$ である。

S.kanazawaika2015A_03.pbm